



平成26年10月31日
在宅医療連携拠点推進事業・地域包括ケアモデル事業 合同活動報告会

在宅医療連携拠点推進事業
地域包括ケアモデル事業 （医療・介護等一体提供モデル）

けやきいきいきプロジェクト

豊明市

豊明市役所
健康福祉部 高齢者福祉課
地域ケア推進担当係 矢野真由美

藤田保健衛生大学
地域包括ケア中核センター
都築 晃



- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン。
- ・人口68,448人（28,112世帯）
うち、高齢者人口 16,131人
- ・高齢化率 **23.6%**（地域差あり）
- ・総人口は減少傾向で推移。
年少人口、生産年齢人口とも減少する一方で、高齢者人口は増加。

■ 豊明市の保健・医療に関する社会資源

病院3（藤田保健衛生大学病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、豊明栄病院）
医療機関39、歯科医療機関39、薬局25、訪問看護3、訪問リハビリ3

- ◆医師会：東名古屋豊明市医師会
- ◆薬剤師会：日進東郷豊明薬剤師会

- ◆歯科医師会：愛豊歯科医師会豊明支部

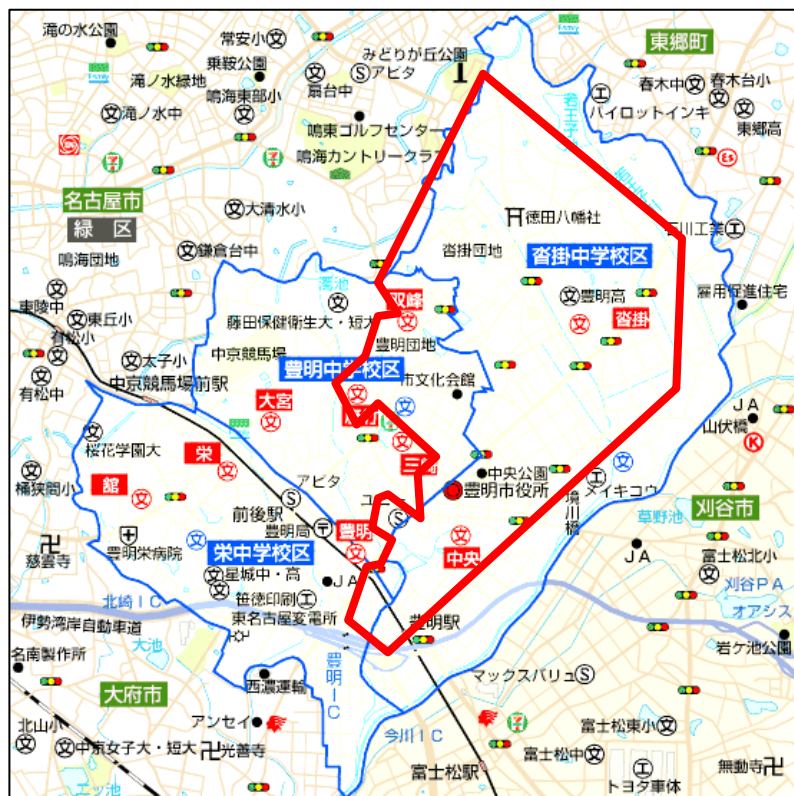
■ 豊明市の介護・福祉に関する社会資源

地域包括支援センター2（H24より委託）、特別養護老人ホーム4、老人保健施設2
特定施設2、小規模多機能居宅介護1、認知症対応型共同生活介護3
居宅介護支援事業所10



豊明市モデル地区の特徴

(豊明市 北部地区)



■ 北部地区の概要

・緑豊かな自然と古い歴史にはぐくまれた沓掛町、高度経済成長期に建設された豊明団地（5階建て全55棟）のある二村台、名古屋都市圏の住宅地区として発展してきた新田町・大久伝町・阿野町・西川町よりなる。

・人口**35,765人**（14,740世帯）のうち
高齢者人口 7,917人

・高齢化率 **22.1%**（地域差あり）

・北部地域包括支援センター所管区域

■ 北部地区選定の理由及び地区の課題

- ① 高齢化率が高く、高齢者独居世帯・高齢者夫妻世帯の増加が進む豊明団地がある。
- ② 地域包括ケア中核センターが新設された藤田保健衛生大学がある。
- ③ 豊明市北部地域包括支援センターをはじめとする介護・福祉に関する社会資源が揃っている。
- ④ 藤田保健衛生大学・UR都市機構・豊明市における地域包括ケアを支える拠点（住居・支援拠点等）づくりをすすめている。

**藤田保健衛生大学
地域包括ケア中核センターとの協力**

- ・訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所
を開設
- ・大学機能を生かした
多職種 of 地域人材育成
- ・地域に対する介護予防
推進



U R都市機構との包括協定

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉拠点化に向けて
包括協定締結
- ・全国100団地
拠点に選定



ICT 在宅医療・福祉統合ネットワーク 「いきいき笑顔ネットワーク」の運用

- ・在宅医療介護
連携へ向けた
ICTによる
多職種連携
チーム支援



学校法人藤田学園との包括協定

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との
多分野での連携協力に関する包括協定締結



■ 豊明市の地域包括ケアに関する強み

- ・藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターとの協力
- ・ICT 在宅医療・福祉統合ネットワーク『いきいき笑顔ネットワーク』の運用
- ・U R 都市機構との包括協定
- ・学校法人藤田学園との包括協定

◆医療福祉に関する社会資源が豊富であり、「いきいき笑顔ネットワーク」の運用など以前から在宅医療福祉連携に取り組んできた基盤がある。

■ 豊明市の地域包括ケアに関する弱み

- ・市内の在宅療養支援診療所や市民病院がない。また、在宅支援に取り組む歯科医療機関や薬局が少ない。
- ・保守的な土地柄でNPO活動が乏しく、行政に対して依存的な市民の気風がある。
- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会の圏域範囲が異なるため、調整が難しい点もある。

■ 今後の活動への期待

- ・26年度中に立ち上がる定期巡回随時対応型訪問介護看護を含む在宅医療福祉連携体制の構築。
- ・在宅医療福祉連携に関しては、広域連携調整や医療計画への地域意見の反映など、保健所との連携に期待したい。



豊明市の担当組織

健康福祉部
高齢者福祉課

介護保険係

介護保険サービス、介護認定 等
課長補佐兼担当係長（事務職）
係員4（事務職）、臨時職員3、認定調査員

高齢者係

高齢者福祉サービス 等
課長補佐兼担当係長（事務職）
係員1（事務職）

地域ケア推進係

介護予防、在宅医療福祉連携、認知症対策、権利擁護、
地域包括支援センター支援、介護保険計画策定 等

担当係長（保健師、精神保健福祉士、ケアマネ）
係員1（保健師）
係員1（事務職）
臨時職員1（看護師）
臨時職員1（ケアマネジャー）

H25年度に新設

- 少人数で多分野にわたる業務を行っている。市の職員定数削減計画がすすめられる中、増員は困難な現状。
- 多分野にわたる業務過多な反面、認知症対策と在宅医療福祉連携を一体的に事業展開できる、介護保険計画に反映しやすいといったメリットもある。
- マンパワーが不足している分、藤田保健衛生大学・名古屋大学・地域の医療福祉関係機関・地域包括支援センター等と積極的に協力連携体制を構築し、地域包括ケアづくりの推進エンジンとしている。



地域の顔の見える関係づくり

24年度 医療機関ヒアリング

〔ヒアリング機関〕 豊明市内の内科・外科全医療機関

〔実施方法〕 地域包括支援センター職員と高齢者福祉課担当職員により訪問ヒアリング

〔収集意見〕 在宅医療に関する危機感はあるが、重要だという認識は共通。通常診療が多忙で思うように動けない、スタッフが不足、終末期は困難といった声も多い。ICTは不得意という声も。

25年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修事業(愛知県モデル事業)

〔実施方法〕 プログラム検討会（医療福祉多職種による検討会議）

研修会 3日程（講演、グループワーク）

〔参加者意見〕 市の医療・福祉などに関する実態報告は参考になった。気さくに医師・薬剤師らと意見を交わせるグループワークがよかった。同職種間の交流もしてみたい。

26年度 医療福祉関係機関ヒアリング

〔参加機関〕 2地域包括支援センター、北部地域包括支援センター、社会福祉協議会居宅介護支援事業所、清水会ケアプランニングセンター豊明、ひまり訪問看護ステーション、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター（訪問看護）

〔実施方法〕 市役所にてグループセッションによりヒアリング

〔参加者意見〕 中核センター(訪問看護)は緩和ケア科と連携して、在宅での看取り支援も始めている。在宅望む声もある一方、いざという時の不安訴える家族多い。地域への啓蒙必要。

26年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修事業

多職種チーム支援を推進するための取り組み

多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修事業

〔藤田保健衛生大学への委託実施〕

・プログラム検討会 2回

医療福祉多職種による検討会議

・研修会 4回

がん療養、認知症、在宅歯科、薬剤支援
CKDをテーマに講演、グループワーク
懇親会

・同職種勉強会 2回

ケアマネ、訪看、訪リハによる



【豊明市委託】2014年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会

医療福祉従事者がお互いの専門的知識を活かしながら、チームとなって
患者・家族を支える地域の体制を整えるため、下記のとおり研修会を行います。



参加費無料
申し込みは別紙にて

交流・グループワーク
各回とも、約60分の
グループワークを予定

全4回
1回のみ参加も可能
豊明市の現状報告あり

懇親会
各回終了後に、
軽食を含めた懇親会を
予定

【第2回 研修会】

■日時：10月26日(日) 14時～16時20分
■会場：豊明市商工会館

■プログラム

- 講演1「認知症ケアにおける病院から在宅への退院支援(仮)」
医療法人 晴和会 あさひが丘ホスピタル 名誉院長 柴山 漢人 先生
- 講演2「認知症ケアと在宅にむけての取り組み」
橋狭間病院藤田こころケアセンター 佐藤 輝美 看護長
- 「豊明市の現状報告2」 豊明市役所高齢者福祉課
- 交流・グループワーク「認知症患者の在宅支援における課題と解決策について」
- 懇親会 予約制 懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

【第3回 研修会】

12月7日(日)14時～16時20分 会場：豊明市商工会館

- 「歯科診療と在宅支援(仮)」
藤田保健衛生大学病院 歯科口腔外科 松尾 浩一郎 教授
- 「訪問薬剤指導と在宅支援(仮)」
薬利部 講師交渉中
- 「豊明市の現状報告3」 ○交流・グループワーク ○懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

【第4回 研修会】

1月25日(日)14時～16時20分 会場：豊明市文化会館ギャラリー

- 「CKDにおける在宅支援(仮)」
医療法人豊水会みずのクリニック 理事長 水野 雅夫 先生
- 「CKDと在宅生活につなげる看護」
藤田保健衛生大学病院 看護部 透析看護認定看護員 辻井 しず 看護長
- 「豊明市の現状報告4」 ○交流・グループワーク ○懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

受付終了した研修会

【第1回 研修会】■日時：10月4日(土) 14時～16時20分 ■会場：豊明市商工会館

■プログラム

- 講演1「がん患者のケアとリハビリテーション・在宅への退院支援」
藤田保健衛生大学病院 医療連携福祉相談部 副部長 加賀谷 斉 准教授
- 講演2「がん患者のケアと訪問看護の取り組み」
藤田保健衛生大学訪問看護ステーション 小島菜保子 看護科長
- 「豊明市の現状報告1」 豊明市役所高齢者福祉課
- 交流・グループワーク「がん患者の在宅支援における課題と解決策について」

【問合せ・申込先】 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 河村・都築
問い合わせ：TEL(0562)93-3706 申し込み：FAX(0562)93-3705 E-mail kurimoto@fujita-hu.ac.jp



地域の運命共同体の設置と課題

豊明市地域包括ケア連絡協議会

地域包括ケア体制構築に向けた各部会への取組状況の報告と課題の検討
平成26年4月設置 地域ケア会議の施策検討レベル会議として位置づけ

代表者会議

多職種人材育成研修 プログラム検討会

多職種連携や人材育成研修内容の協議
〔藤田保健衛生大学に委託〕

同職種勉強会

ケアマネ

訪問看護

訪問リハビリ

同職種による情報共有等

ICT医療福祉 連携部会

いきいき笑顔ネットワーク 運営委員会

定例ミーティング

名古屋大学医学部附属病院先端医療臨床研究支援センターサポートのもと、具体的取組について検討

入退院 調整部会

病院から在宅生活への移行時の関係機関同士の連絡調整等について情報共有・体制整備

見守り生活 支援部会

見守り・生活支援の具体的なサービスや取組みについて、市民参加のもと検討



豊明市地域包括ケア連絡協議会

代表者会議

〔委員〕 名古屋大学医学部附属病院教授、東名古屋医師会副会長、東名古屋豊明市医師会代表、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター、社会福祉協議会長、民生児童委員連絡協議会長、シルバー人材センター会長、区長連合会代表、ボランティア代表
〔オブザーバー〕 瀬戸保健所、県医療福祉計画課、国立長寿医療研究センターなど
〔事務局〕 高齢者福祉課、包括支援センター

ICT医療福祉連携部会

いきいき笑顔ネットワーク
運営委員会

〔委員〕
東名古屋豊明市医師会代表
名古屋大学医学部附属病院教授
東名古屋豊明市医師会長
東名古屋豊明市医師会代表
愛豊歯科医師会豊明支部長
愛豊歯科医師会豊明副支部長
日進東郷豊明薬剤師会長
豊明市薬剤師会長
藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター
訪問看護ステーション
〔オブザーバー〕
名古屋大学医学部附属病院
先端医療・臨床支援研究センター
瀬戸保健所など
〔事務局〕
高齢者福祉課、包括支援センター

入退院
調整部会

〔委員〕
東名古屋豊明市医師会代表
藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター
訪問看護ステーション
藤田保健衛生大学病院退院連携調整室
豊明老人保健施設
〔オブザーバー〕
瀬戸保健所など
〔事務局〕
高齢者福祉課、包括支援センター

見守り生活
支援部会

〔委員〕
社会福祉協議会長
民生児童委員連絡協議会長
シルバー人材センター会長
区長連合会代表
ボランティア代表
〔オブザーバー〕
瀬戸保健所など
〔事務局〕
高齢者福祉課、包括支援センター

■ 今後、地域ケア会議などから見えてくる地域課題により、
必要な部会を設置できるように運営していくことが課題。



現在、構築準備中!!



地域の課題と解決策

取り組みを進める中で見えてきたこと 今後の取り組みの中で大切にしたいPoint

市民啓発/市民との意識共有

- 走りながら考えることの必要性。計画を踏襲したスケジューリングも重要だが、各種取り組みを行っている、潜在していた社会資源や情報が集まってくる。
- 取り組みをわかりやすく関係機関や市民に周知することにより、地域の「強み」が集まる仕組みに。
- 体制的・因習的・習慣的な課題は、長期的な対策を必要とする。まずは啓発から。
- 市民にとってインセンティブがあると感じられる取り組みであること。



- ◆ 市民を巻き込んだ取り組みに向けて、市民啓発と意識共有の取り組み強化

現場主義/実践からのPDCA

- 各種ツールの活用も事例（個別・地域）があつてこそ、洗練された活用につながる。
- 事業・制度の実施も必要性があつてこそ。
- 制度改正や理想的な概念を伝えるだけでは、多忙な医療福祉関係者のアクションにはつながらない。
- 現状に困っている、切実な市民の要望、具体的な行政の現状こそ、医療福祉関係者との相互理解とモチベーションにつながる。



- ◆ 事例（個別・地域）の支援場面、その都度に研修やツール、構築事業が活かされるために
- ◆ 地域ケア会議からの課題ボトムアップの重要性



26年度前半の振り返りと改善策

ロードマップに基づく進捗状況について

- 6/30 中間発表会以降の取り組み状況について → この後のスライドでご紹介。
- 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修事業を開始

26年度後半の取り組み推進について

■ 以下の事項にも留意し、取り組み推進していく。

- 医療・介護一体改革法や新たな財政支援基金制度等の制度改正とシンクロした推進。
- 豊明市第6期高齢者福祉・介護保険事業計画への反映。
- 地域ケア会議の取り組み強化。
- 市民啓発の強化。



けやきいきいきプロジェクトの取り組み Section 1

個別支援事例から

■ 本人概要

79歳 男性Nさん 1人暮らし

認知症 要介護1

〔サービス利用状況〕

- ・デイケア（6回／週）－ Yクリニック
- ・配食サービス（7日／夕食）

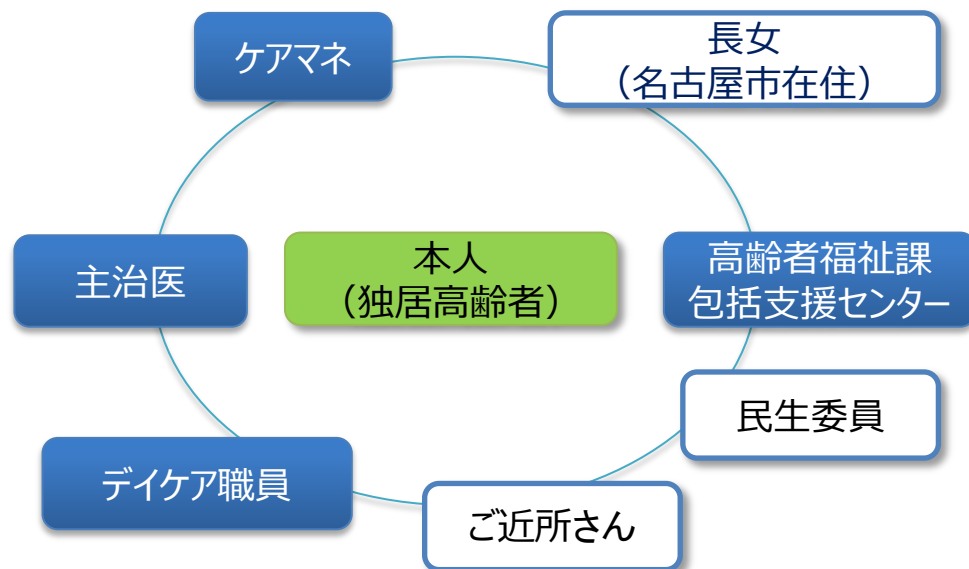
■ 支援者

長女（名古屋市在住、必要時支援）
主治医、デイケア職員、ケアマネ
地区民生委員（隣の家）、ご近所さん

■ 本人・家族の希望

本人：1人暮らしでも心配なく愛犬との生活を続けていきたい

家族：介護サービスなどの必要な支援を利用しつつ、健康管理をしながら交流の場へも参加し
楽しく過ごしてほしい。



■ 経 緯

妻は8年前に他界。その後1人暮らし。
H25.2頃、かかりつけ医より、血圧の薬を処方中にも関わらず一向に症状改善しないことから
服薬できていない（薬を放置していた）ことが発覚。
認知症が疑われ、介護保険導入に至った。

時期	H26.6 地域ケア会議
本人の 状態	・状態安定 ・デイケアには「仕事に行っている」つもりで通所はじめた
支援 課題	・支援チーム間の円滑な情報共有 ・24時間のソフトな見守り ・生活支援
導入 となった 支援	介護保険サービス ・デイケア 高齢者福祉サービス ・配食サービス インフォーマルサービス ・デイケア送迎時の支援 ・近所の見守り 在宅医療福祉連携 ・ICT「いきいき笑顔ネットワーク」の活用 ・見守りセンサーの活用検討
事例から の反映	・ケアマネ連絡会への情報提供 ・民生委員打合せの活性化提案 ・ICT部会／定例MTでの事業検討



時期	H26.7 地域ケア会議(家族も参加)
本人の 状態	・地域の活動にも時々参加
支援 課題	・家族の不安の軽減 (生活支援、転倒、徘徊への不安)
導入 支援 となった	地域包括ケア ・定期的な家族を含む 地域ケア会議の開催 在宅医療福祉連携 ・見守りセンサーの活用
事例から の反映	・ICT部会での見守り サポート事業検討



家族の声

- ・主治医・デイケア職員⇔ケアマネ⇔行政（手続き関係）⇔家族
による連絡事項等が、本人を介すると忘れてしまっていたり
うまく伝わらないことがあるため、確実に行いたい
- ・見守りサポート事業(見守りセンサー)の導入により、本人の生活見
守りを強化したい

Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援

時期	H26.8～9
本人の 状態	・体調不良による栄養状態の悪化 ・鍵をなくしたことで近所とのトラブル ・室内での転倒によるケガ
支援 課題	・家族の不安増大への対応 ・地域の認知症への理解 ・食生活管理・薬剤管理と生活支援の連携

登録情報の変更はこちら 性別：男 年齢：79

記事の抽出・絞り込みパネル

記載日 解除

10月 2014年

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

担当者/グループ 編集 解除

山田彰 (Dr : やまだクリニック)

矢野真由美 (Phn : 豊明市役所)

貝沼その子 (Cm : 介護生活用品の専)

近藤有紀子 (Phn : 豊明市役所)

文書タグ 解除

🕒 閲覧状況の確認



各位
本日
関係
中木
写真
情報
今日

ipac
今後とも、よろしくお願いします。

- 1枚目 デイでの様子
- 2枚目 薬の工夫
- 3枚目 カレンダーの利用(関係者で書き込みする用)

image.jpg



image.jpg



image.jpg



いきいき笑顔ネットワークと見守りセンサーを活用した「見守りサポート事業」

目 的

- 1 独居高齢者の孤独死・孤立死予防
- 2 緊急事態への早期発見・早期対応
- 3 高齢者の健康づくり

取組み内容

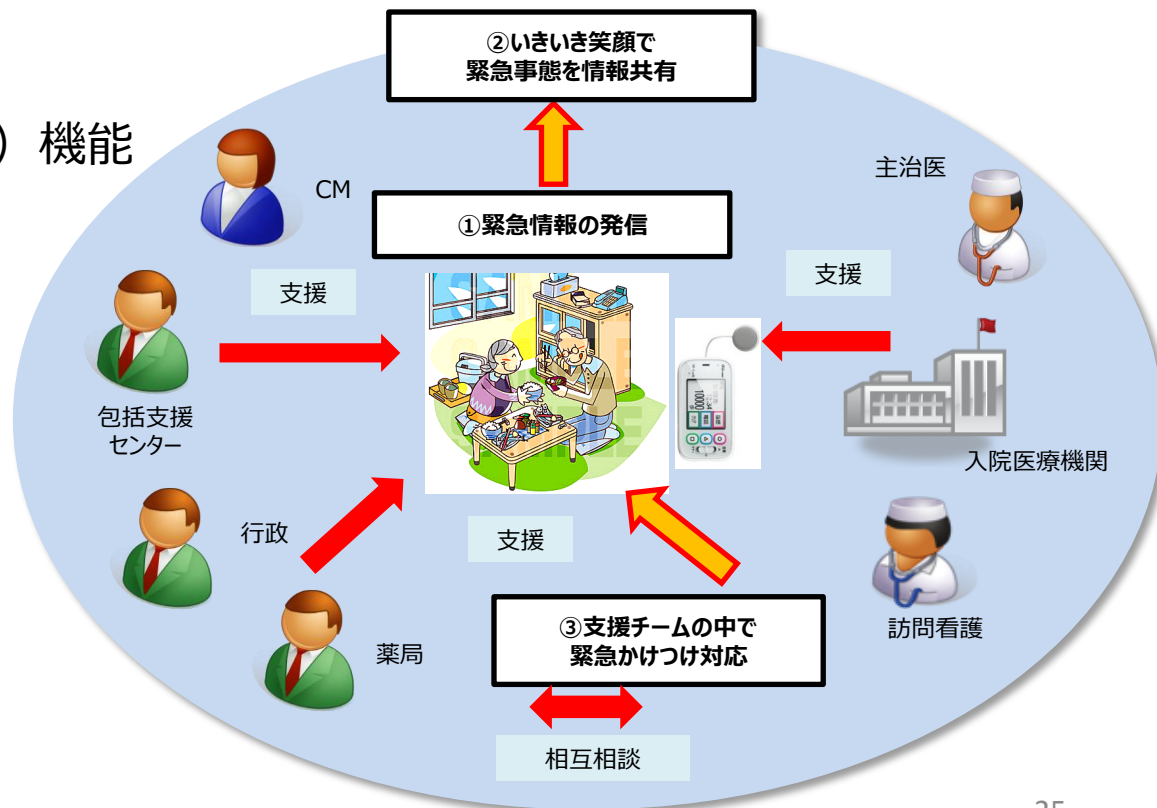
- 1 - 見守りセンサー（人感センサー）機能
- 2 - 緊急センサー機能
- 3 - 万歩計機能

対象者 合計 400名

- ・いきいき笑顔ネットワーク登録者
- ・市内独居高齢者



見守り用センサー
「Mi-Look」



「見守りサポート事業」による Nさんの生活状況の把握

患者情報							中木屋房信(フナキヤウリフ)																																																																			
登録情報の変更はこちら							性別: 男	年齢: 79才 (1935-02-19生)																																																																		
記事の抽出・絞り込みパネル																																																																										
記載日							解除																																																																			
◀ 10月 2014年 ▶ <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>							日	月	火	水	木	金	28	29	30	1	2	3	4						5	6	7	8	9	10	11						12	13	14	15	16	17	18						19	20	21	22	23	24	25						26	27	28	29	30	31	1							
日	月	火	水	木	金																																																																					
28	29	30	1	2	3																																																																					
4																																																																										
5	6	7	8	9	10																																																																					
11																																																																										
12	13	14	15	16	17																																																																					
18																																																																										
19	20	21	22	23	24																																																																					
25																																																																										
26	27	28	29	30	31																																																																					
1																																																																										
担当者/グループ							編集 解除																																																																			
山田彰 (Dr : やまだクリニック)																																																																										
矢野真由美 (Phn : 豊明市役所)																																																																										
見沼その子 (Cm : 介護生活用品の専																																																																										

■日時
2014/10/ 7 8:28

■センサー情報

◇10/ 7

08	○	5回以上
07	○	46回
06	○	63回
05	○	3回
04	○	3回
03	○	2回
02	×	0回
01	×	0回
00	×	0回

◇10/ 6

23	○	2回
22	×	0回
21	×	0回
20	×	0回
19	×	0回
18	×	0回
17	○	17回
16	○	13回
15	○	34回
14	×	0回
13	×	0回
12	×	0回
11	×	0回
10	×	0回
09	○	25回
08	○	51回

- ・朝、犬の散歩（近所の見守り）
- ・朝食（関係者で検討、火の危険あり
→電磁調理器申請中）

睡眠

- ・夕方、犬の散歩（近所の見守り）
- ・夕食+飲酒（配食サービス）

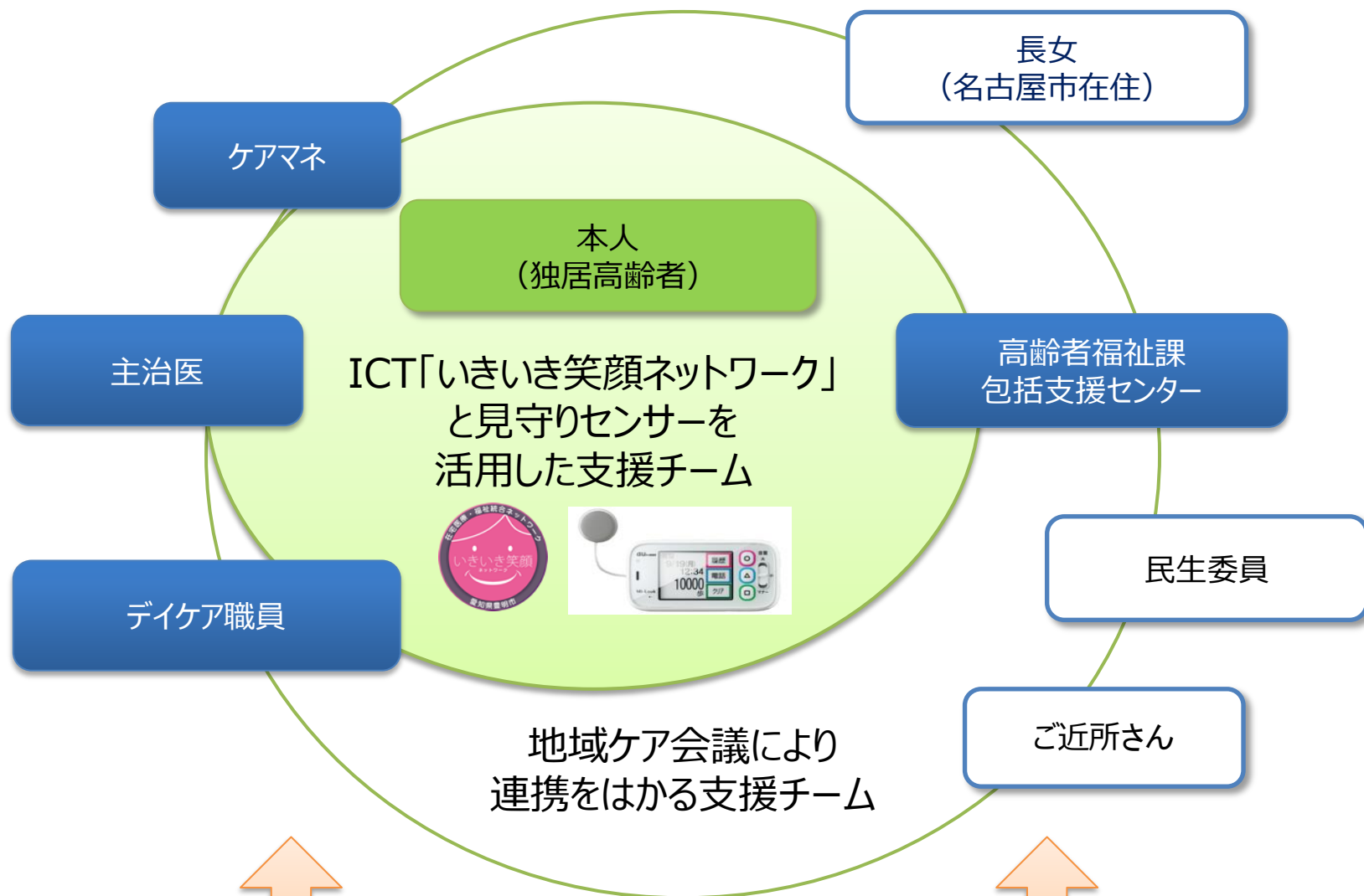
- ・送迎時、生活（食事、服薬等）見守り
- ・デイケア参加

時期	H26.10 地域ケア会議
本人の 状態	・安定した生活を送る
支援 課題	・地域の認知症への理解 ・食生活管理・薬剤管理と生活支援の連携 ・認知症に関する医療福祉関係者の知識向上と連携強化 ・家族も巻き込んだチーム支援体制づくり
導入と 支援とな った	地域包括ケア ・定期的な家族・民生委員を含む地域ケア会議の開催 高齢者福祉サービス ・住宅改修 ・電磁調理器購入の補助
事例 からの 反映	・多職種協働による在宅チーム支援を担う人材育成研修事業への認知症メニュー提案



Nさん支援から見た今後の地域課題

- 家族と支援チームとの情報共有体制の確立
- 薬剤師・栄養士の在宅支援
- 地域の認知症への理解



多職種協働による在宅チーム支援を担う
人材育成事業による連携・専門性強化

地域の認知症理解に関する啓発

認知症、医療ニーズの高い在宅療養者、独居高齢者など
多様な地域の事例を支える「地域包括ケア」には
多重層的な仕組みづくりが必要



Nさんの事例では・・・

地域ケア会議、多職種人材育成事業によるスキル向上

近所の見守り、家族との連携支援

ICT「いきいき笑顔ネットワーク」の活用

見守りサポート事業

家族や地域の認知症理解

介護保険サービス、高齢者福祉サービス



フィードバックして、さらに必要な仕組みづくりへ



けやきいきいきプロジェクトの取り組み

Section 2

豊明団地の地域包括ケアづくり



■ 豊明団地の概要

- ・高度経済成長期に建設された豊明団地
- ・高齢者独居世帯・高齢者夫婦世帯の増加
- ・5階建て55棟
- ・人口4,663人うち、高齢者人口1,536人
- ・高齢化率 **32.9%**

■ 豊明団地の問題

- ・持続可能な在宅医療福祉連携体制の構築とともにまちづくり対策が急務
- ・後期高齢者の要介護者の急増が予想され、介護予防及び生活支援策の充実が急務
- ・団地内唯一の診療所は医師が高齢化しており、後方支援体制と今後の体制整備が必要
- ・団地の空き店舗、空室が増加している

Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

時期	実施内容	参加者
4/15	地域懇談会 ・モデル事業について ・URとの協定締結について	団地自治会役員、高齢者福祉課
4/16	UR都市機構との包括協定締結	
4/22	豊明団地生活支援アドバイザー ヒアリング	生活支援アドバイザー、包括支援センター 高齢者福祉課
4/30	地域懇談会 ・藤田保健衛生大学の取り組み ・団地自治会の活動について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 高齢者福祉課
5/23	地域懇談会 ・意見交換	豊明市長、団地自治会役員、高齢者福祉課
5/29	第1回 検討会 ・見守りサポート事業について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課

基本方針の明示



住民ニーズの把握



住民組織との意識
共有



推進エンジンとなる
組織結成の準備



Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

時期	実施内容	参加者
6月～	見守りサポート事業 開始	
8/6	第2回 検討会 ・高齢者アンケートについて	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課
8/18～ 9/19	豊明団地高齢者アンケート	
10/9～	高齢者健康増進教室 開始	
10/14	第3回 検討会 ・アンケート結果報告 ・実行委員会(案)について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課
11月～	「暮らしの保健室」 視察 認知症徘徊模擬訓練 実施	

具体的な取り組み



住民ニーズの把握



協働事業の実施



推進エンジンとなる
組織結成



具体的な取り組みから
見えてきた
課題に向けて



Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

豊明団地の高齢者の生活ニーズを把握し、地域包括ケア整備策を検討するためにアンケート調査を実施

対 象 豊明団地在住の65歳以上の市民 1,109人から①②を除いた851人
①要介護4・5 14人 ②第6期高齢者福祉・介護保険計画ニーズ調査送付者 244人
実施時期 平成26年8月下旬から9月下旬

アンケート調査ご協力をお願い

日頃より、市政へのご理解ご協力いただき、大変ありがとうございます。
豊明市は、4月16日にUR都市機構と包括協定を締結し、みなさまが住み慣れた地域でいつまでも元気で安心して暮らすことができるまちづくりを目指しています。

それに基づき、豊明団地地域における生活へのご要望やご意見を把握するためにアンケートを行うこととなりました。お忙しいとは存じますが、ご協力よろしくお願いします。



調査について

○8月1日現在、豊明団地にお住まいの65歳以上の方にお送りしています。

○回答は無記名で結構です。

○当てはまる番号に○をつけて、返信用封筒で 9月19日(金) までにご返信ください。

○結果については、統計的に処理しますので、みなさまにご迷惑がかかることはありません。また、この集計結果は藤田保健衛生大学とも共有し、活用します。

(1) あなたの性別はどれですか？

1 男 2 女

(2) あなたの年代はどれですか？

1 65～69歳 2 70～74歳 3 75～79歳
4 80～84歳 5 85～89歳 6 90歳～

(3) 現在の世帯(同じ部屋に居住)状況は次のどれですか？

1 ひとり暮らし 2 夫婦ふたり暮らし
3 その他()

(4) 現在の体調はいかがですか？

1 よい 2 ふつう 3 悪い

(5) 日ごろ、運動をしていますか？

1 毎日 2 週に3日以上 3 週に1～2日程度
4 月に1～3日 5 運動していない

(6) あなたが現在使っているサービスは何ですか？

1 介護保険サービス
(ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイ等)
2 医療サービス(訪問看護、訪問リハビリ等)
3 UR団地生活支援アドバイザー(安心コール等)
4 豊明市のサービス(配食サービス、緊急通報、ミルック等)
5 その他()
6 特に何も使っていない

(7) あなたが現在日常生活の中で困っていることは何ですか？
(3つまで○)

1 外出時の手段 2 日常の買い物
3 家の掃除や洗濯 4 食事のしたく
5 ごみ出し 6 入浴
7 家具の移動や電球の取替えなど簡易な修繕
8 通院や薬を取りに行くこと 9 預貯金の出し入れ
10 役所の手続き 11 運動する機会がない
12 家族の介護や世話
13 おしゃべりする相手がいない
14 階段の上り下り 15 特に困っていることはない
16 その他()

(8) 今後、利用してみたいサービスは何ですか？(3つまで○)

1 送迎サービス 2 買い物宅配サービス
3 民間の生活支援サービス
(部屋の掃除、食事のしたく など)
4 区や自治会の行う生活支援サービス
(家具の移動や電球の取替えなど簡易な修繕)
5 身近な健康・生活相談 6 健康づくり・運動教室
7 食事の配達サービス 8 地域の交流会・食事会
9 緊急時の連絡サービス・日頃の見守りサービス
10 特にない
11 その他()

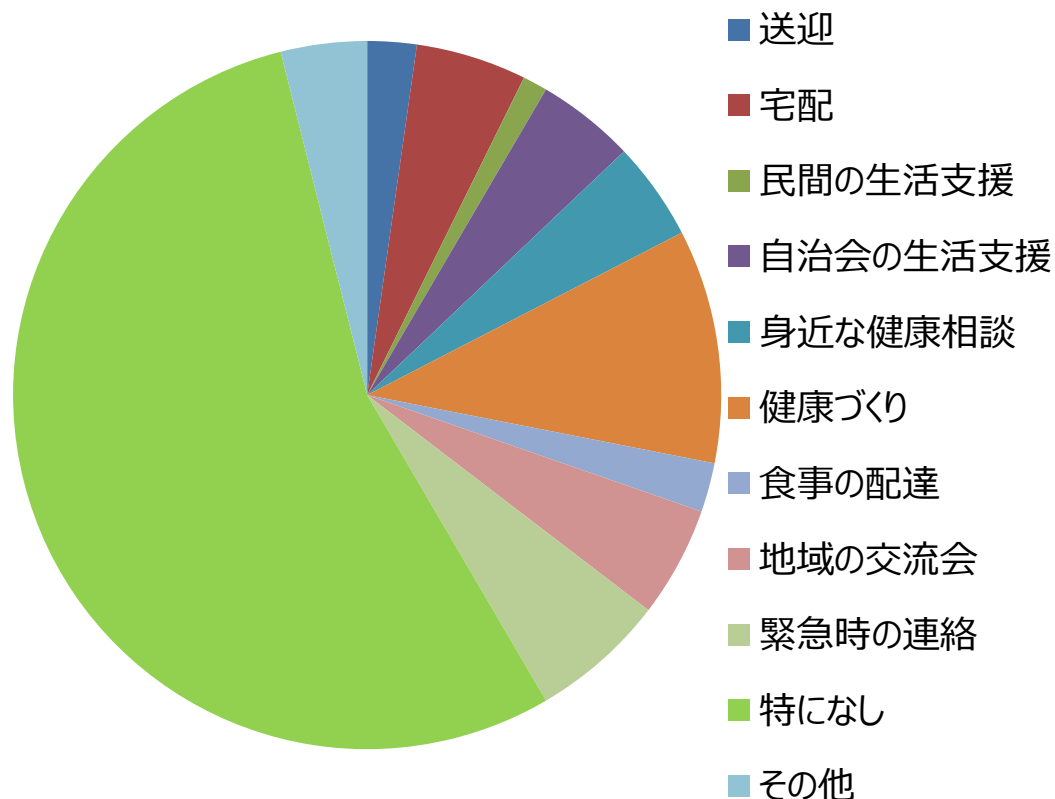
ご協力ありがとうございました。
アンケートを返信用封筒に入れて、投函してください。

※ご記入上のご不明な点は、下記までお問い合わせください。
豊明市役所 高齢者福祉課 地域ケア推進係 TEL 0562-92-1261

Section2 豊明団地の地域包括ケアづくりから

豊明団地の高齢者の生活ニーズを把握し、地域包括ケア整備策を検討するためにアンケート調査を実施
〔高齢者健康増進事業：藤田保健衛生大学との協働事業〕

■これから利用したいと思うサービス



過半数は「特になし」であるが

①送迎、宅配、生活支援、食事の配達といった「生活支援サービス」

②身近な健康相談、健康づくり、地域の交流会といった「地域交流・相談サービス」

③「緊急時の対応」

といったサービスを求める声が多かった。

※藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター分析より抜粋

外出機会やコミュニティへの参加を促進し、地域でいきいきと暮らす高齢者の増加へ
〔高齢者健康増進事業：藤田保健衛生大学との協働事業〕

見守りセンサー & 歩数計として
健康づくり教室にも活用。

歩数ランキングで
参加者の
モチベーションアップ





27年度に向けて

豊明市の目指す地域包括ケア体制

地域包括ケア基盤準備

2014年

地域包括ケア構築推進

2015～16年

モデル地区での地域包括ケア構築

他地域への展開

2025年

豊明市の現状

高齢化率の上昇
豊明団地を中心とする地域課題
地域医療・介護を担う慢性的な人材不足
回復期・慢性期の受け皿の不足
効率的な多職種連携体制の未確立 等



豊明市の達成すべき政策目標

「地域完結型医療」と
地域包括ケアシステムの構築

一人でも元気で幸せに暮らすことのできる社会の実現

社会保障費（医療・福祉）の
適正化

あいち地域包括ケアモデル事業

マネジメント・調整

- ◆ 地域包括ケア連絡協議会の開催
- ◆ 地域包括ケアシステム推進員の配置
による包括支援センターの強化
- ◆ 医療・福祉社会資源リストの作成

医療と介護の連携

- ◆ 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修
- ◆ ICT医療福祉連携部会の開催
- ◆ いきいき笑顔ネットワークの普及と活用促進

予 防

- ◆ 高齢者健康増進事業
- ◆ 高齢者ボランティアポイント制度「アクティブシニアクラブ」
- ◆ 一次予防・二次予防事業

生活支援

- ◆ ICTネットワークと見守りセンサー機器を活用した高齢者安否確認・異常発見事業
- ◆ 高齢者福祉サービス
- ◆ 認知症対策

医 療

- ◆ 入退院連携部会の開催
- ◆ 市民向けシンポジウムの開催

介 護

- ◆ 介護者交流会・つどいの実施

住まい

- ◆ UR都市機構と市の協定締結を基盤に高齢者住まいに関する検討

豊明市の特徴

藤田保健衛生大学
地域包括ケア中核センターとの協力

在宅医療・福祉統合
いきいき笑顔ネットワーク

名古屋大学医学部付属病院
先端医療・臨床研究支援センターによる支援

UR都市機構との包括協定

一人でも元気で幸せに暮らすことのできる社会の実現

民生児童委員
区長連合会
地区組織活動
N P O

藤田保健衛生大学
藤田保健衛生大学病院



住民の交流スペースづくり

- ・高齢者の閉じこもり予防
- ・地域交流サロン など

高齢者が地域に 住み続けられる福祉拠点づくり

- ・グループホーム
- ・24時間定期巡回・随時対応型訪問
介護看護
- ・サービス付き高齢者向け住宅
など

生活支援サービス拠点づくり

- ・買い物支援
- ・配食サービス
- ・生活の支援 など

在宅医療連携の推進 見守り・安否確認

- ・いきいき笑顔ネットワーク
- ・センサーを使った見守り・安否確認
など

在宅医療連携拠点づくり

UR都市機構
地域包括支援センター

豊明市社会福祉
協議会



豊明市



東名古屋豊明市医師会
地区の医療福祉関係機関



問い合わせ先

豊明市役所 健康福祉部
高齢者福祉課 地域ケア推進係

担当者 : 近藤、矢野、竹田
E-mail : koreifu@city.toyoake.lg.jp
TEL : 0562-92-1261
住 所 : 豊明市新田町子持松1番地1

いきいき笑顔ネットワークポータルサイトもご覧ください。
「いきいき笑顔 ポータル」で検索 または
<http://p-ikiiki.nu-camcr.org/cms/>